

# 公孫樹

2022年1月発行  
 第120号  
 浄土宗慶蔵院  
 伊勢市小俣町元町1211  
 TEL 0596 (22) 3726

明けまして



慶蔵院任職  
 副任職

寺庭

前島格也  
 前島信也  
 前島栄子  
 前島啓子

イラスト

西里定一

A cartoonist-3



7 敵機が去って3分後、やっと空襲のサイレンが鳴り出した



8



9 先生は、既座に定か手当てすると、私も背負うご家まで送ってくれました。



10



11 一回向治療休校後教室へもどると私への嘲笑が待っていました。



12

※、ごんくさい 動作や思考が鈍い人。

空襲体験 ② 西里定一 作

新しい年が始まります。本年もどうぞよろしくお願ひします。今年から、賀状ですが、「公孫樹」をお届けさせていただきます。くことをもって新年のご挨拶にかえさせていただきます。どうぞご了承ください。

また、これまでの賀状によるご縁のあった方々にも「公孫樹」を郵送させてもらうことにしました。お寺の活動を知っていただける機会にもなるのではないのでしょうか。

さて今年、慶蔵院では、ふたつの企画に取り組むことを課題としました。五役会議で骨子を作り上げ、三月の寺世話人会議で決定、四月中にはお檀家の皆さんに報告できるようにと考えています。

一つは、葬儀のあり方について。ご遺体の安置・枕経、通夜、出棺から葬儀までのすべてを慶蔵院の「一会館」と本堂を利用してできるようにする。その一連の流れを、必要な費用も含めてパンフレットにして配布すること。

二つには、昔からあった墓の整備と拡張を通して、浄土寺さん、浄泉寺さんがすでに建設された永代供養墓を、慶蔵院も境内の一区画に建設すること。

ご要望などありましたら、寺世話人さんに一報ください。

# 1月の行事予定



5日(水)	写経 映画会	午前10時～ 午後7時～
12日(水)	念仏会	午後7時～
9日(水)	健康教室 歩き方教室 講師 馬場久美子先生 男性詠唱隊	午後1時～ 健康教室・歩き方教室 参加費500円 午後7時～
26日(水)	読経会	午後7時～
25日(火)	戦没者慰霊	午前11時～
13日(木)	ともいき英語サロン 講師 三浦邦昭先生	午前10時～11時半 午後1時半～3時 参加費1000円
14日・28日(金)	茶道教室 講師 河井宗恵先生 樋口宗恵先生 田島宗紀先生	午後7時～子供茶道教室 7時半～大人茶道教室 子ども 無料 大人 500円
予約があれば水曜日	キサンシンギングボウル ヒーリング	要望に応じて30分～60分



師走に入った頃のことです。

庭先には、真っ赤に実をつけた万両、赤い実の千両と黄色い実の千両。その足元にはつわぶぎの黄色い花。いつの間にか竹垣にそってどんどんと増え、元気に広がって、たくさんの花をつけているつわぶぎが大好きです。

ああ、花も実も、みなお正月を待っているのだ…と眺めていると、見慣れぬ蝶がひらひらと舞い降りてきて、つわぶぎに近づいていきます。一つ目、二つ目と順々に、黄色い花の蜜を吸っていきます。丹念に、丹念に…。五つほど吸い終わるとどこかに飛び去りました。

しばらくするとまた舞い降りてきたのです。さっきのつわぶぎとは別の株に飛んでいきます。一つ、二つと、同じように丹念に蜜を吸っています。

ふと、この蝶は、あの何千キロも旅をする渡り蝶かもしれないと思えてきました。でも確証はありませんでした。

ところが翌日のことです。朝刊の記事の写真で、昨日の蝶を見つけたのです。アサギマダラです。

秋の七草のフジバカマの花とつわぶぎの花を好み、ほかの花には見向きもしないといわれます。日本の北から南の台湾あたりまで、旅するそうです。命がけの旅。あの可憐な蝶のどこにそんな力があるのでしょうか。昨日の蝶は、いま頃どこを飛んでいるのだろう…。清々しさを残して屋根をこえていった蝶たちの無事を祈りました。このコラムをお読みいただくときは、もうお正月。新年のご挨拶を申し上げます。皆さま、あけましておめでとございます。

(栄子)



## 浄土宗新聞を無料で

### お渡しします！！

1月号読みどころ

6ページ…

新春企画として「写経」の手本が掲載されています。薄い紙をあてて、上からなぞるようにして写経ができるようになっています。筆にこだわることなく、ボールペンやマジックペンなどでもいいでしょう。取り組まれてはいかがでしょう。

写経の紙は、慶蔵院の本堂にあります。初めての方もどうぞ。写経されたらお届けください。毎月の写経の際に、一緒に納経させていただきます。

「自信偈」の解説もありますので読んでみてください。

5ページ…

「今月のことば」は「幸せへのスタート」です。血栓症を患った山形県の住職が、浄土宗宗歌、法然上人「月かげ」の歌の説明を通して、「幸せ」を語っています。



（「知恩一月号「柳壇」に掲載）

奥田 悦生

初日受け寺の境内雪が舞う



映画会・念仏会・男性詠唱隊・読経

会の時間変更のお願い

毎週水曜日、夜の行事の時間設定につきまして、開始時間を7時半から7時開始に変更させていただきます。よろしくお願いいたします。

従いまして、上記行事はすべて 水曜日の7時から8時半までとなります。ご了承ください。



#### 子ども会予告

人形劇団「どむならん」

2月27日（日）11時

演目 ①おしゃべりかんこちゃん  
②夢のスプーン  
③くま太におまかせ

慶蔵院「一会館」で公演されます。

「ともいきハウスおくやま」で購入していただいた、  
六枚つづりのチケットをお持ちの方に…

令和四年より、一枚につき、100円分のチケットとして、神宝農産の野菜や製品を購入する代金にあてさせていただきます。どうぞご利用ください。

慶蔵院前の駐車場で、毎週、火曜・金曜の9時半から12時まで、野菜販売・製品販売を行っています。またこれまで通り、ハウスでは、良心市(第三日曜日、午前10時～3時)があります。無人販売所も設置されています。いずれの場所でも、百円券として利用していただけますので、どうぞお使いいただければと存じます。

チケットを処分、また失くしてしまったという方、自主申告していただければ対応させていただきます。遠慮なくお申し出ください。「ともいきハウスおくやま」、お世話になりました。四年間ではありましたが、皆様のご協力により意義深い挑戦であったと思います。



中村哲英上人  
売れ残りの  
南瓜は  
味もよくないが  
それでも歌の題材  
絵の題材には  
十分なる  
人間もいつかは  
何かの役に立つ  
ものをです。

「人が生きて、死ぬことの意味を、日本人は忘れてい  
るんじゃないかという気がするんですね」

この言葉は、アフガニスタンで銃弾に倒れた中村哲医  
師の言葉だ。彼の著作「わたしは『セロ弾きのゴーシ  
ユ』」を紹介する新聞に出ていた。「中村哲が本当に伝  
えたかったこと」とある。

この言葉を読んで思い出した…。葉祥明作「コールマ  
イネーム」。浄土宗の依頼を受けて、阿弥陀経の世界が  
絵本化されている。

「人は この世を去るときになって ようやく 生き  
るということの意味を真剣に考えます しかし 人は生  
きている間に たびたび死を思う必要があります そう  
することで 真に生きることができるようになるので  
す」と。

売れ残りの南瓜も、歌や絵画の世界では役に立つこと  
ができるように、何時かは人間も、何かに役に立つこと  
ができるようになる。役に立てる「務め」とは何か  
と、探し求めていく人生にこそ、南無阿弥陀仏に生かさ  
れた人生なのではないか。信仰なくして進行はない。

横井久美子は、一九六四年米軍戦闘機が神奈川県大和  
市の館野鉄工所に墜落した事件の追及を支援した田島征  
三さんの詩に曲をつけ、歌った。

「おれ もしも死んでなかったら おやじをこんな目  
にあわせはしなかった…力いっぱい生きてどんなことだ  
ってやったぜ…誰か覚えているだろうか 十五年前の  
おれたちがひどい死に方をした日のことを」